

豊かで成熟したライフスタイルを提案する

季刊誌 「五感の生活」夏号 vol.19

The Mature Life with Five Senses

2026年7月発行



特集／

- ・竹あかりがつなぐ、里山と人の循環 アカリノワ 大村大輔さん
- ・アクタガワのあたらしいリハビリ「RehaNext (リハネクスト)」
- ・ダイバーシティ経営 外国人社員の教育支援
- ・五感の生活



株式会社リージョン・フォース



株式会社アクタガワ



株式会社アクタガワホールディングス



株式会社アクタガワHRM



株式会社ファイブ・センス

静岡の有名人

Interview

アカリノワ 大村大輔さん

大村大輔さんプロフィール

静岡県静岡市出身。測量・林業・伐採の仕事を通じて、地域に広がる放置竹林の課題と向き合う。

農家からの相談をきっかけに、伐採した竹を資源として活用する取り組みを開始。

現在は「竹あかり」の制作・展示を中心に、竹林整備や農業利用を通じて、里山と人をつなぐ循環づくりに取り組んでいる。



竹あかりがつなぐ、里山と人の循環

今回は、放置竹林の整備から生まれた竹を活用し、幻想的な光を灯す「竹あかり」の制作に取り組むアカリノワの大村さんにインタビューの機会をいただきました。

Q1 竹あかりの活動を始めたきっかけを教えてください。

きっかけは、地域の農家の方から「竹をどうにかしてほしい」と相談を受けたことです。この地域では、もともとタケノコを採るためにモウソウチクが多く植えられていました。しかし、農家の高齢化などにより手入れが行き届かなくなり、竹林が放置されるようになっていました。竹は生命力が強く、周囲の木を枯らしてしまうこともあります。また、根が浅いため、大雨の際には土砂崩れや河川の増水につながるおそれもあります。ただ竹を伐るだけでは、仕事として継続していくことは難しい。そこで、伐った竹を何かに活かせないかと考え、最初は竹チップや竹炭として農業利用を試みました。その後、子どもたちの自然体験活動の一環として、竹を切り、穴を開け、光を灯す「竹あかり」づくりを始めました。子どもたちだけでなく大人も夢中になり、現在の活動へとつながっています。



Q2 竹あかりには、どのような特徴や魅力がありますか？

竹あかりの魅力は、竹という自然素材の温かさと、そこからこぼれるやわらかな光にあると思います。竹を伐採し、必要な長さに切って節を抜き、一本一本に穴を開けて内側から光を灯すことで、同じデザインでも少しずつ表情の違う作品になります。制作では、竹の見極めも大切です。若すぎる竹や年数が経ちすぎた竹は加工に向かないため、4年から6年ほどの竹を中心に選んでいます。また、乾燥によるひび割れを防ぐために「背割り」を入れることで、光の漏れ方にも作品の表情が生まれます。私たちの竹あかりは、ただ「綺麗」で終わらないことを大切にしています。放置されていた竹を作品として活用し、役目を終えた後は竹炭にして田んぼや畑に還す。竹を一度使って終わりにするのではなく、地域の中で循環させることを目指しています。

Q3

活動を続ける中で、印象に残っている出来事がありますか？

始めた頃は効率も悪く、手間もかかり、「次でやめよう」と思うことが何度もありました。それでも、イベントで来場者の方が「うわ、綺麗」と声を上げてくださり、その喜びを仲間とハイタッチして分かち合った瞬間は、今でも心に残っています。

また、竹林の整備を依頼してくださった地主さんから「ありがとうございます」と言っていただけでも大きな励みです。高齢になり、自分では手入れができなくなった竹林を整備することで、安心していただける。その感謝の言葉があったからこそ、ここまで続けてこられたと思います。竹あかりは、見る人に喜んでもらえるだけでなく、竹林に困っている地域の方の助けにもなります。その両方があることが、この活動の大きな意味だと感じています。



Q4

竹あかりを始めたことによる、地域への影響を教えてください

竹あかりは、人と人をつなぐ力があると感じています。ワークショップでは、子どもと大人、おじいちゃんとお孫さんが一緒に作品を作ることがあります。世代を超えて同じものを作る時間は、とても温かいものです。また、普段は家庭であまり見せないお父さんの姿が、工具を扱うことで子どもに伝わることもあります。私自身も、もともとは山の中で黙々と作業する方が性に合っていました。人前で話すことは得意ではありませんでしたが、竹あかりを通じて多くの方と出会い、話す機会が増えました。人との関わりが大きく広がったことも、竹あかりがくれたものの一つです。



Q5

今後の目標や挑戦していきたいことを教えてください。

今後は、竹を中心とした循環の仕組みをさらに広げたいです。

屋外展示で役目を終えた竹あかりは、竹炭として田んぼや畑に活用できます。今後は、竹炭や竹チップを農業に活かすだけでなく、鶏の飼育なども含めた、より大きな循環にも挑戦していきたいと考えています。

竹は厄介者として扱われることもありますが、見方を変えれば地域の資源です。光に変え、炭に変え、土に還し、また命を育てる。その循環をつくることで、里山を守りながら、自然とともに生きる選択肢を次の世代にも伝えていけたらと思っています。



BAKERY & CAFE RESTAURANT AYUKAWA 上足洗

対談を終えて

今回、放置竹林という地域課題に向き合い、伐採した竹に光を灯す「竹あかり」の制作に取り組むアカリノワの大村さんにお話を伺いました。

地域で困りごととされていた竹を、ただ処分するのではなく、人の心を動かす作品へと変え、さらに役目を終えた後は竹炭として土に還していく。その活動には、自然と人、地域と暮らしをつなぎ直す大きな意味があると感じました。

便利さや効率ばかりを追い求めるのではなく、自然と

向き合い、放置竹林という社会課題の解決に取り組む大村さんの活動は、私たち(株)アクタガワのスローガンである「五感の生活」にも通じるものだと感じました。

今回の対談を通じて、社会課題の解決は、目の前の困りごとに情熱を持って向き合い、創造し、挑戦することで解決していくことだと学びました。大村さんの活動が里山と人をつなぎ、次の世代へと受け継がれていくことを願っています。

アクタガワのあたらしいリハビリ 「RehaNext」



ホームページで
閲覧下さい。

3つのリハビリの相乗効果により、お客様の生きがいを創造し、
豊かで成熟した暮らしを支援します。

あたらしいリハビリ
RehaNext
アクタガワ

リハネクスト
RehaNext

リハネクストプレミアム
最上級のリハビリサービス
・脳梗塞リハビリBOT

リハネクストライフ
個別生活リハビリ・個別機能訓練
・生活リハビリPro
・生活リハビリPlus
・生活リハビリα

リハネクストクラブ
集団的な生活リハビリ
・生活リハビリクラブ
・スマイルクッキング

PREMIUM
LIFE
CLUB

リハネクストプレミアム 身体機能面の改善にコミットするリハビリ

脳梗塞後の運動麻痺や骨折後の筋力低下、長期入院後の体力低下など、お客様の生活を困難にしている原因を見極め、その原因に対して専属の理学療法士がマンツーマンでリハビリを提供するプレミアムなリハビリサービスです。お客様の身体的・心理的な状態に寄り添いながら、身体機能面の改善にコミットし、生活行為や身体機能の改善を目指します。

リハネクストライフ お客様の生活に寄り添った生活リハビリ

お客様お一人おひとりの生きがいに焦点を当て目標を設定し、理学療法士や作業療法士、看護師、介護職員、施設の場合はケアマネジャーが一丸となって目標達成や生きがいの獲得を支援します。施設内で提供している「リハネクストライフ（個別生活リハビリ・個別機能訓練）」と組み合わせることで、日常動作への応用が可能となり、効果を最大限にたかめます。

生活リハビリPro：お客様の生きがい・目標達成を目指す生活リハビリ

生活リハビリPlus：デイサービスと訪問介護が連携した在宅での自立支援特化リハビリ

生活リハビリα：小規模多機能型居宅介護の機能を最大化する生活リハビリ

リハネクストクラブ 新たな可能性と交流の輪を広げるクラブ活動

料理、手芸、園芸、演奏、華道、書道など、様々なクラブ活動を通じて、生きがいのある生活に向け新たな提案をします。五感を刺激し、心身や脳を活性化させ、楽しく仲間と交流しながら、生きがいの創造を目指します。

生活リハビリクラブ：共通の趣味を五感で楽しむリハビリクラブ活動

スマイルクッキング：仲間と一緒に作る楽しさがリハビリにつながる大人の料理教室

あたらしいリハビリ「リハネクスト」ホームページを上記二次元コードより閲覧下さい

改善事例紹介（リハネクストプレミアム+ライフ+クラブ）

生きがいの追究

『脳梗塞の後遺症を乗り越え、大好きなライブに行くために』

年代・性別 80代 女性

リハビリ目標 好きなアーティストのライブに参加すること

背景

脳梗塞後遺症として右上下肢に軽度の麻痺と体力の低下がみられ、歩行時の足の踏ん張りが効きにくい。

リハネクスト
プレミアム

- 理学療法士マネージャーが専門的な視点でお客様の身体を多角的に分析し、生きがいにつながるリハビリプランをご提案

リハネクスト
ライフ

- 歩行を安定させるための下肢筋力を向上させる歩行訓練と階段昇降訓練
- 上肢機能訓練として握力向上の雑巾絞り運動と指先の把持力向上訓練

リハネクスト
クラブ

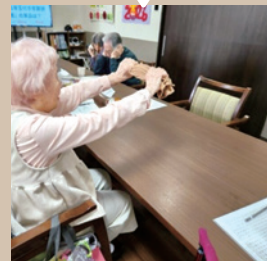
- 青空農園クラブで水やりや野菜・花の世話をお客様・職員と役割をもって実施。
- 趣味活動を通じて活動量の向上と生活意欲も向上。

リハビリ内容



職員との屋外での歩行訓練と階段昇降

雑巾絞り運動



青空園芸クラブでの役割



念願だったライブへの参加を実現

取り組み内容は
こちら



歩行器から杖での歩行も可能に。

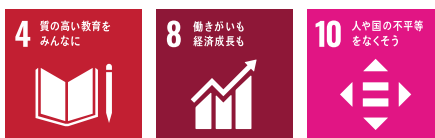
継続的なリハビリにより、利用開始から4か月で歩行器から杖歩行へ移行。姿勢改善により歩行が安定し、日常生活での活動範囲と自立した移動能力が向上しました。その結果、娘様と一緒に有明アリーナで開催のライブへ、新幹線で移動できました。ライブに参加することがF様の生きがいです。次のライブへ参加する目標がリハビリを行う原動力となっています。

「持続可能な開発目標」への取り組み



アクタガワの ダイバーシティ経営 外国人社員の教育支援

特定技能外国人社員3名が 介護福祉士試験に合格しました



このたび、弊社に在籍する特定技能外国人社員3名が、日本語と試験対策に特化した独自のプログラムにより、国家資格である介護福祉士試験に合格いたしました。今回の合格は、本人たちの日々の努力と、現場での実践、周囲の支え、継続的な学習支援が実を結んだ大きな一歩となりました。

弊社では、グローバル社員が安心して日本で生活し、介護の専門職として長く活躍できるよう、入国前から資格取得まで一貫した育成体制を整えています。

昨年10月には、スリランカの医療系教育機関「IIHS大学」と提携して、入国前から高い質の教育を実施し、一般的な特定技能の目安である日本語能力試験N4より高い、N3レベルでの入国を標準とすべく取り組んでいます。

また、入国直後には、日本で生活するうえで守るべきルール・マナー・税金・契約など、過去事例を基にしたテーマを専用ガイドブックで重点講義、母国と異なる生活環境にもなるべく早く対応できるよう指導を行っています。

さらに、入国後は、国家資格「登録日本語教員」保有者による日本語教育を、日本語能力試験N2取得や介護福祉士合格まで、無償で提供しています。

一般的に特定技能人材の介護福祉士合格率は30%台とされるなか、弊社では合格率100%を目標に、一人ひとりに合わせた支援を行っています。

アクタガワはこれからも、国籍やバックグラウンドに関わらず、すべての社員が安心して働き、成長しながら力を発揮できる職場環境づくりを進めてまいります。

介護福祉士 合格者



外国人社員の集合研修の様子



スリランカの医療系教育機関「IIHS大学」との提携調印式



五感の生活

The Mature Life with Five Senses

～豊かで成熟したライフスタイルを提案する～



ホームページで
閲覧下さい。

「五感の生活」とは、五感を通して、心と体の豊かさを取り戻し、人間らしい“生きがい”を追究することを意味します。

便利さや効率を求めすぎた現代社会に対し、自然や自分の内面に目を向けることで本来の感覚を取り戻し、より豊かで成熟したライフスタイルを目指す考え方です。

五感の生活の3つの価値観

・「効率よりも自然のリズム」～人間も自然の一部であると感じる～

急ぎすぎず、自然の流れに身をゆだねることが、心の安らぎと生きがいにつながります。

・「複雑よりもシンプル」～今ここに感覚と心を一致させる～

役割に縛られず、今この瞬間に集中することで、シンプルで自分らしい生き方を大切にします。

・「思考よりも五感」～その場の世界に抱かれる～

頭で考えすぎず、五感を研ぎ澄ませて“今”を感じることが、本来の自分を取り戻す手助けになります。

アクタガワでは、「五感の生活」の要素を、日々の暮らしの中でより身近に感じていただくために、四季折々の移ろいを取り入れた「五感の室礼」をお届けしています。今回は、7月・8月に実施する「祇園祭」と「お盆とおぼずき」の室礼をご紹介します。



日本三大祭りの一つである祇園祭は、京都八坂神社のお祭で、7月1日から約1カ月間に渡って行われます。平安時代に疫病が流行したとき、66本の鉾を立て、疫病退散を祈願したことが始まりとされています。お祭りの最大の見せ場は山鉾巡行。華やかな山車が京都の中心街を巡り、たくさんの観光客が集います。



古くから薬草として利用され、実を口で鳴らす遊びで親しまれる「ほおずき」。ほおずきは「鬼灯」とも書き、その形から別名「灯籠草(とうろうそう)」とも呼ばれます。お盆の時期には精霊が迷わないよう赤い色を迎え、火や提灯の火に見立て飾ります。あわせて飾られる精霊馬には、ご先祖様をお迎えし、お送りする意味が込められています。

このようにアクタガワでは、「五感の生活」をスローガンとして掲げ、幅広いサービスを通じて、地域の人々が安心と生きがいを持って暮らせる社会を目指しています。自然のリズムや感覚を大切にする「五感の生活」の理念は、暮らしや支えを通じて、一人ひとりの心と体の豊かさにつながります。

五感の生活のホームページを上記二次元コードより閲覧下さい。

会社概要

■社名	株式会社 アクタガワ
■設立年月日	1999年6月14日
■資本金	2,000万円
■代表取締役	芥川 侑真



事業内容

ライフケア事業（介護サービス）

- プレミアムハートライフ（介護付有料老人ホーム）
- ハートライフ（サービス付き高齢者向け住宅）
- ハートフルホーム（総合介護サービス）
 - ・訪問介護サービス
 - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定額ヘルパー通報サービス）
 - ・通所介護サービス（デイサービス）
 - ・生活リハビリテーション・ロコモーショントレーニング
 - ・小規模多機能型居宅介護
 - ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
 - ・居宅介護支援事業
 - ・地域包括支援センター
 - ・在宅介護支援センター
 - ・その他福祉事業
- 脳梗塞リハビリBOT静岡

ライフサポート事業（介護関連サービス）

- ・福祉用具貸与・販売・住宅改修（ぺんぎんショップ）
- ・住まいの110番（暮らしのお困りごと）
- ・シニアのリフォーム

子育て事業

- ・ぺんぎん保育園
- ・セノバ保育園



介護事業



介護関連事業



子育て事業



人材紹介・派遣事業

事業所

本 店	〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1
	〒420-0034 静岡市葵区常磐町二丁目 13-4 TEL：054-280-5588 FAX：054-280-2676
	ライフケア事業部 TEL：054-280-5588 FAX：054-280-2676
本 社	メディカル・スタッフ事業（株式会社アクタガワHRM） TEL：054-654-5088 FAX：054-282-4288
	ライフサポート事業部 TEL：0120-894-888 FAX：054-270-7010
	管理本部（株式会社アクタガワホールディングス） TEL：054-204-1388 FAX：054-204-1387
プレミアムハートライフ大岩	〒420-0886 静岡市葵区大岩一丁目 8-14 TEL：054-200-8300 FAX：054-200-2808
プレミアムハートライフ千代田	〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目 14-7 TEL：054-207-8288 FAX：054-207-8388
プレミアムハートライフ小鹿公園前	〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 927-1 TEL：054-654-5488 FAX：054-654-2205
ハートライフ千代田	〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目 14-4 TEL：054-265-1700 FAX：054-265-1518
ハートライフ押切	〒424-0008 静岡市清水区押切 845-2 TEL：054-348-1688 FAX：054-348-1692
ハートライフ高柳	〒426-0041 藤枝市高柳三丁目 29-31 TEL：054-631-6821 FAX：054-631-6824
ハートライフ小石川	〒426-0033 藤枝市小石川町三丁目 19-23 TEL：054-639-5398 FAX：054-639-5198
ハートライフ初生	〒433-8112 浜松市中央区初生町 720-2 TEL：053-523-8570 FAX：053-523-8579
ハートライフ長泉	〒411-0944 駿東郡長泉町竹原 360-1 TEL：055-971-6388 FAX：055-971-6360
ハートフルホーム城北	〒420-0936 静岡市葵区池ヶ谷 6-20 TEL：054-249-1188 FAX：054-249-1189
ハートフルホーム西奈	〒420-0916 静岡市葵区瀬名中央一丁目 4-3 TEL：054-655-0588 FAX：054-655-1388
ハートフルホーム静岡中央	〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1 TEL：054-205-1988 FAX：054-205-1989
ハートフルホーム小鹿公園前	〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 927-1 TEL：054-654-2220 FAX：054-654-2206
ハートフルホーム八幡	〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 10-10 TEL：054-286-8788 FAX：054-202-5032

ハートフルホーム八幡

ハートフルホーム御門台

ハートフルホーム有東坂

ハートフルホーム清水銀座

ハートフルホーム相良

ハートフルホーム島田東

ハートフルホーム藤枝青葉町

ハートフルホーム厚原

ハートフルホーム加島

ハートフルホーム開北

カフェ&リハ静岡千代田

カフェ&リハ沼津開北

静岡市駿河区八幡山地域包括支援センター

脳梗塞リハビリBOT静岡 静岡店

脳梗塞リハビリBOT静岡 富士店

ぺんぎんショップ（福祉用具貸与・販売・住宅改修）

ぺんぎん保育園上足洗

ぺんぎん保育園豊田

セノバ保育園

〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 10-10
（生活リハビリ八幡）
TEL：054-204-0688 FAX：054-204-0689
（居宅介護支援事業所）
TEL：054-284-0540 FAX：054-204-0689

〒424-0066 静岡市清水区七ツ新屋二丁目 1-28
TEL：054-349-6880 FAX：054-349-6881

〒424-0873 静岡市清水区有東坂一丁目 224-45
TEL：054-349-3188 FAX：054-349-3110

〒424-0817 静岡市清水区銀座 13-30 パルシティ 2F
TEL：054-361-2188 FAX：054-361-2180

〒421-0526 牧之原市大沢 565-1
TEL：0548-53-1588 FAX：0548-53-1589

〒427-0011 島田市東町 1394 番地
TEL：0547-54-5575 FAX：0547-54-5559

〒426-0066 藤枝市青葉町四丁目 5-29
TEL：054-631-7368 FAX：054-631-7270

〒419-0201 富士市厚原 179-1
TEL：0545-32-8588 FAX：0545-32-8887

〒416-0912 富士市加島町 8-16
TEL：0545-32-6866 FAX：0545-32-6855

〒410-0004 沼津市本田町 2-52
TEL：055-929-1805 FAX：055-929-2588

〒420-0801 静岡市葵区東千代田一丁目 7-12
TEL：054-295-5455 FAX：054-295-5559

〒410-0058 沼津市沼北町一丁目 1-7
TEL：055-928-7083 FAX：055-928-7084

〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 12-10
TEL：054-202-6677 FAX：054-286-9888

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1
TEL：054-289-6588 FAX：054-270-7010

〒419-0201 富士市厚原 179-1
TEL：0545-30-6108 FAX：0545-32-8887

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1
TEL：054-269-6306 FAX：054-270-7010

〒420-0841 静岡市葵区上足洗三丁目 14-39
TEL：054-294-7188 FAX：054-294-7288

〒422-8027 静岡市駿河区豊田一丁目 1-41
TEL：054-266-3268 FAX：054-266-3263

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 1-11-11 静鉄鷹匠アネックス2F
TEL：054-255-7575 FAX：054-266-7050

関連会社

- ・株式会社アクタガワホールディングス
- ・株式会社アクタガワHRM
- ・株式会社リージョン・フォース

- ・株式会社ファイブ・センス
- ・株式会社芥川ビル
- ・株式会社櫻ブレイン

SDGs への取り組み

持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

ダイバーシティ経営企業認定
（経済産業省）

女性活躍えるぼし認定
（厚生労働省）

ISO9001 認証取得

CSR パートナー企業
（静岡市）

健康経営優良法人
（経済産業省）

しずおかランニングパトロール
（静岡県警）



お問合せはこちら 054-204-1388



アクタガワホームページ

アクタガワ

検索